

環境目的及び目標一覧表 (H 2 2)

【環境負荷事業活動（日常業務活動）】

環境方針	環境目的	類番	環境目標	責任者
エコオフィスうえだの推進	行政の率先行動による環境負荷の低減	1	「エコオフィスうえだ」に基づき、日常業務活動に使用する物品等（用紙類の使用や電気・ガス・水道等）の削減に努め、グリーン購入を推進します。	各課所長

【環境負荷事業活動（公共工事関係）】

環境方針	環境目的	類番	環境目標	成果を図る指標	責任者
				数値目標	
公共工事による環境負荷の低減	公共工事に伴う環境への負荷低減を図る。	1	「上田市公共工事配慮指針」に基づき公共工事に伴う負荷低減を図る。	環境配慮率平均 90%	公共工事担当課長

【環境負荷事業活動（その他）】

環境方針	環境目的	類番	環境目標	成果を図る指標	責任者
その他事務事業活動に伴う環境負荷の低減	行政の率先行動による環境負荷の低減	1	印刷物等(申請書・冊子・パンフレット等)の廃止、印刷部数の削減、簡素化等の観点から見直しを行います。	検討の有無	関係課所長
		2	自治会配布物の見直しを行います。	検討の有無	関係課所長
		3	「エコイベントうえだ」に基づき、イベントに伴う負荷低減を図ります。	計画時の検討及び終了時の確認	関係課所長

環境保全事業関係

環境基本計画基本目	環境目的	類番	事務事業名	環境目標	今年度の事業	効果を計る指標 (どの水準まで)	責任者
Ⅰ 安全で健康に暮らせるまち	1 さわやかな空気と静けさを確保する	1	一般地域における騒音調査及び測定	一般地域の測定定点による定期的な観測により、環境基準の類型ごとに達成率を算出し、監視します。 (目標:平成23年度 100%)	一般環境について、市内11地点の騒音を調査測定し、騒音の状況を調査する。	測定定点11地点を秋以降に実施する。	生活環境課長
		2	道路交通騒音調査及び測定	道路に面する地域の測定定点による定期的な観測により、平成17年度導入した面的評価システムを用いて、個々の住宅すべての騒音推定値により環境基準達成度を算出し、監視します。(平成23年度 100%)	継続実施している道路に面する地域の騒音調査を実施する。	100%実施	生活環境課長
		3	新幹線鉄道騒音調査及び測定	新幹線鉄道の定期的な観測により、環境基準の達成について監視します。(100%定点基準達成)	新幹線鉄道の騒音・振動について調査、測定を実施。測定予定ヶ所2地点(下堀地区)	100%実施する。	生活環境課長
		4	アイドリングストップ運動	アイドリング・ストップ運動を推進します。	広報などによる啓発活動		生活環境課長
		5	市営駐車場の管理運営	パークアンドライドを促進します。	快適に利用できる駐車場の管理運営	市営駐車場駐車台数 年 320,000台	管理課長
		6	都市計画街路等建設工事	防音効果による良好な道路環境形成のため排水性舗装を推進します。	天神町新屋線L=0.4kmの排水性舗装工事	施工延長	都市計画課長
		7	循環バス運行施策	15 公共交通機関であるバスの利用促進を図り、自家用車の使用を軽減させます。	平成20年10月20日から運行を開始した「上田市街地循環バス」と、「オレンジバス」の利用者が増加するよう施策を検討する。	循環バス等利用者 目標5万7千人	地域交通政策課長
		8	市営住宅の管理	さわやかな空気と静けさを確保する。	苦情件数の削減の推進	苦情件数の削減の推進	丸子市民生活課長 市民サービス担当 (住宅部門)

環境保全事業関係

環境基本計画基本目	環境目的	類番	事務事業名	環境目標	今年度の事業	効果を計る指標 (どの水準まで)	責任者
Ⅰ 安全で健康に暮らせるまち	2 きれいな水と安全な土壌を確保する	9	河川水質調査及び検査	定期的な調査により、河川水質の環境基準の達成について監視します。	市内河川の調査地点について、河川の状況を把握するため水質調査を実施する。この結果は、環境レポート等で公表していく。	毎月市内16地点の検査を実施し、年2・4回調査する地点も含め計35地点の検査により水質監視する。	生活環境課長
		10	地下水水質調査及び検査 (硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素の監視)	定期的な調査により、地下水質の環境基準の達成について監視します。	市内の地下水(井戸水)について、硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素を含む水質検査を実施する。	硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素の基準値達成。	生活環境課長
		11	地下水水質調査及び検査 (低沸点有機化学物質の監視)	地下水質の低沸点有機化学物質の環境基準の達成について監視します。	市内13地点の地下水(井戸水)について、年一回低沸点有機塩素系化学物質(トリクロエレン、テトラクロレイン、1,1,1-トリクロエタン)を含む項目を調査。	低沸点有機塩素系化学物質(トリクロエレン、テトラクロレイン、1,1,1-トリクロエタン)の環境基準値の達成。	生活環境課長
		12	合併処理浄化槽設置整備事業	公共下水道・農業集落排水の整備区域外において、合併処理浄化槽の設置を促進します。	申請に対する補助金の交付	合併処理浄化槽設置整備事業での新設7基	生活環境課長
		13	危険物施設立入検査	漏洩事故による土壌、地下水への影響を説明し、環境に対する意識の啓発を図る。	危険物施設立入検査40件の実施を予定し、施設の安全管理、漏洩事故防止について指導する。	危険物施設立入検査実施件数40件以上 事故発生件数0件	中央消防課長
		14	危険物施設立入検査	漏洩事故による土壌、地下水への影響を説明し、環境に対する意識の啓発を図る。	20施設を目標に立ち入り検査を実施する	漏洩事故発生ゼロ件	南部消防課
		15	危険物施設立入検査	漏洩事故による土壌、地下水への影響を説明し、環境に対する意識の啓発を図る。	危険物施設等のある防火対象物立入検査を47箇所予定し、施設の安全管理について指導する。	予定件数を実施し、事故発生件数ゼロを目指す。	東北消防課長

環境保全事業関係

環境基本計画基本目	環境目的	類番	事務事業名	環境目標	今年度の事業	効果を計る指標 (どの水準まで)	責任者
I 安全で健康に暮らせるまち	2 きれいな水と安全な土壌を確保する	16		水環境の保全のための啓発活動を行うと共に、保全活動も行う	1 住民環境啓発 2 イベント等の実施参加 3 他課実施活動の援助		経営管理課長
		17	下水道の普及促進	公共下水道事業、農業集落排水事業等を推進します	下水道未接続者に対する啓発文書発送 (共用開始後6月・1年・2年・3年各経過した者) ・取付管立会時の啓発(随時) ・戸別訪問の実施 ・促進チラシの戸別配布 「下水道の日」における啓発・水洗化促進標語募集	水洗化率 ・平成22年4月1日時点の下水道水洗化(利用)率を85%に向上させる。 確認申請件数 ・1,200件を目標とする	サービス課長
		18	漏水調査	有収率の向上	漏水調査 管路延長 L=124.2km 戸別音聴調査箇所 15,000箇所 夜間路面音聴調査 L=10 km	漏水箇所数及び推定漏水量	上水道課長
		19	鉛給水管布設替え	鉛給水管の解消	鉛給水管布設替 計画修繕対応 420件 故障修繕対応 100件 水道本管工事対応 30件 計 550件	布設替件数	上水道課長
		20	合併処理浄化槽設置整備事業	公共下水道・農業集落排水の整備区域外において、合併処理浄化槽の設置を促進します。	申請に対する補助金の交付	合併処理浄化槽設置整備事業での新設1基	武石市民生活課長
		21	浄水場運転管理	環境に配慮した浄水場管理	①浄水場、施設における消毒剤の適正な注入 ②需要量に見合った適正な取水量管理 ③浄水場泥土の適正な処理処分委託 ④河川水質検査の実施	①浄水場元出し水 通常 0.8mg/ℓ以下 末端給水栓水 通常 0.1mg/ℓ以上 ②配水量の120%以内 ③全泥土量の3割程度を処理処分委託 ④検査回数	浄水管理センター長
		22	浄水場運転管理	環境に配慮した浄水場管理	①浄水場、施設における消毒剤の適正な注入 ②河川水質検査の実施	①浄水場元出し水 通常 0.8mg/ℓ以下 末端給水栓水 通常 0.1mg/ℓ以上 ②検査回数	浄水管理センター長(丸子)

環境保全事業関係

環境基本計画基本目	環境目的	類番	事務事業名	環境目標	今年度の事業	効果を計る指標 (どの水準まで)	責任者
Ⅰ 安全で健康に暮らせるまち	2 きれいな水と安全な土壌を確保する	23	河川パトロールの実施	地域美化活動を推進します。	河川パトロールに伴う河川清掃 年2回	依田川等の河川パトロール・清掃実施 年2回(春・秋)	丸子市民生活課長 市民サービス担当 (環境部門)
		24	合併処理浄化槽設置整備事業	公共下水道・農業集落排水の整備区域外において、合併処理浄化槽の設置を促進します。	申請に対する補助金の交付	合併処理浄化槽設置整備事業での設置4基	丸子市民生活課長 市民サービス担当 (生活部門)
		25	排水設備の普及促進	下水道の早期接続			丸子上下水道課長(業務係)
		26	上水道事業、公共下水道事業、農業集落排水事業	上水道事業、公共下水道事業、農業集落排水事業を推進する	○処理場の整備 ①菅平浄化センター改築更新 ②農集処理場の維持管理	○処理場の整備 ①管理棟耐震補強・改築更新工事 ②処理場沈砂池棟及び調整槽設備更新の実施設計	真田上下水道課長
	3 有害化学物質による汚染を未然に防止する	27	ダイオキシン類の環境汚染調査	大気、河川、土壌などにおいて、ダイオキシン類汚染状況を調査・測定し、その結果を公表するとともに、有害物質に関する情報を提供します。	年一回、一般環境大気4ヶ所、河川4ヶ所、土壌3ヶ所等について調査。	環境基準値達成。	生活環境課長
		28	防火対象物、危険物施設立入検査及び条例届出検査	漏油事故をなくす	①立入検査を実施 ②届出検査を実施 ③広報を実施	①漏油事故ゼロ	川西消防課長
		29	防火対象物(内危険物及び少量危険物施設及び危険物施設の立入・届出検査及び広報活動	危険物施設からの漏洩事故をなくすために、取扱者としての意識の向上を図る。	1立入検査の実施 ① 2届出検査の実施 ② 3予防広報の実施 ③	危険物漏洩事故ゼロ ①件、②件 真田有線放送を利用した油漏洩事故防止の広報(秋季、冬季、春季) ③回	真田消防課長

環境保全事業関係

環境基本計画基本目	環境目的	類番	事務事業名	環境目標	今年度の事業	効果を計る指標 (どの水準まで)	責任者
II 自然・生き物・人が共生するまち	1 森や里山を守り・親しむ	30	造林事業	県の森林税等を活用して私有林150haの間伐を推進し、健全な森林を育成する。	①私有林間伐150haの実施	①間伐の実施面積	森林整備課長
		31	松くい虫防除対策事業	被害木伐倒薬剤処理V=8,000m3	①被害木8,000m3の伐倒薬剤処理	①被害木の処理量	森林整備課長
		32	地域青少年育成指導者養成講座	ネイチャーゲーム、野外活動全般の講習会等を年5回以上開催する。	ネイチャーゲーム・応急処置・親子レクリエーション・野外活動の講習会、自然・キャンプ体験教室、里山遊び体験教室を開催する。	ネイチャーゲーム、野外活動全般の講習会等を年5回以上開催する。	生涯学習課長
		33		天然記念物の保護パトロールの実施及び生息地の環境保全に対する啓発			文化振興課長
		34	アレチウリ、ブタクサ駆除	真田地域全域でアレチウリ、ブタクサ駆除活動を推進します。	アレチウリ、ブタクサ駆除の実施	地域内の河川、公共道路の一斉駆除 私有地の所有者への駆除指導	真田市民生活課長

環境保全事業関係

環境基本計画基本目	環境目的	類番	事務事業名	環境目標	今年度の事業	効果を計る指標 (どの水準まで)	責任者
II 自然・生き物・人が共生するまち	2 水辺環境を守り・親しむ	35	河川愛護活動	河川環境の保全活動を推進します。	河川愛護活動の実施	河川活動をした団体数 52団体	生活環境課長
		36	① 多自然型水路整備 ② 農地・水・環境保全向上対策への支援	① 農業用用水路において、環境に配慮した工法を推進します。 ② 非農業者も加えた地域の協働による、農業施設や環境の維持保全活動を支援します。	① 多自然型水路を1ヶ所整備する。 ② 13組織を支援する。	① 多自然型水路を1ヶ所整備する。 ② 地域住民全体で環境意識を共有する。	土地改良課長
		37	自然活動体験教室事業	自然体験活動事業を年3回実施する。	千曲川、峰の原高原や武石巣栗溪谷等での川遊び、キャンプ、自然体験活動を通じて、市民に身近な自然とのふれあいを体験してもらう。	自然活動体験事業を年3回開催する。	生涯学習課長
		38	「ビオトープ生き物観察・水生昆虫デジタル写真教室」	清流のすばらしさ、自然環境の大切さを、子どもたちの記憶に残す。	①信州上田千曲川少年団、NPO法人信州いわたの学校等の市民団体と一緒に、 ②塩田平に関係深い依田川の支流・武石川で、遊びながら川に親しむ ③清流のすばらしさ、自然環境の大切さを感じてもらい記憶に残る機会とする。	①参加者延べ人数 1講座30人 ②参加者の満足度 70% 参加者アンケートの結果から	塩田公民館長(解放会館)
		39	多自然型水路整備	農業用用水路において、環境に配慮した工法を推進します。	多自然型水路を1ヶ所整備する。	実績数値による。	丸子産業観光課長(土地改良係)
		40	河川水質調査及び検査	定期的な調査により、河川水質の環境基準の達成について監視します。	市内河川の調査地点について、河川の状況を把握するため水質調査を実施する。 余里自治会からの要望による河川水質調査の実施	市内4地点で実施 指定箇所1地点で実施	武石市民生活課長
		41	多自然型水路整備	農業用用水路において、環境に配慮した工法を推進します。	多自然型水路を一箇所整備する。	多自然型水路を一箇所整備する。	武石産業観光課長
		42	河川改修事業	自然と調和した河川整備と地域防災を一体的に推進する。	・(普)所沢川 河川改修 L=40.0m の早期発注を目指す	完了実績による。	武石建設課長

環境保全事業関係

環境基本計画基本目	環境目的	類番	事務事業名	環境目標	今年度の事業	効果を計る指標 (どの水準まで)	責任者
II 自然・生き物・人が共生するまち	3 農環境を守り・親しむ	43	担い手への農地の利用集積による優良農地の確保	農地の保全・活用を図る。(数値目標 平成22年度 80ha)	担い手農家への農地の利用集積の促進	農用地流動化促進奨励金対象面積 21年度末 90ha →22年度目標 80ha	農政課長
		44	遊休荒廃農地の解消等による優良農地の確保	農地の保全・活用を図る。(数値目標 平成22年度 遊休農地解消面積 5ha)	遊休荒廃農地の解消(補助事業等) 農業者との意見交換 遊休農地解消計画の策定	補助事業等による遊休農地の解消目標面積 21年度末10ha/年 →22年度目標約5ha/年(継続的に解消)	農政課長
		45	稲倉棚田の保全	棚田の景観を保全します。(荒廃した棚田の有効活用)	①田植体験の受け入れ2校 ②棚田オーナーの取組27組受入 ③ほたる火まつりの実施 ④堰免の荒廃農地の復旧と有効活用	①田植体験の受け入れ ②棚田オーナーの取組 ③堰免の荒廃農地の復旧と有効活用	農政課長
		46	学童農園事業	学校での環境教育・環境学習活動を推進します	・児童による田植えは、協力者、地方事務所の指導による手植え。 ・夏場はあぜ等の草取りを中心に田の管理を行う。 ・収穫は手刈りで行い、はぜにかけ天日乾燥する。 ・脱穀、わらまき等も児童が主となって行う。 ・収穫祭に協力者を招き、全員で収穫を祝う。	・上田地域小学校(16校)の5年生1,500人 ・平成21年度の耕作面積 18,090㎡ (保全農地面積)	学校教育課長
		47	遊休荒廃農地の解消等による優良農地の確保	農地の保全・活用を図る(数値目標 平成22年度 遊休荒廃農地解消面積 5ha)	遊休荒廃農地の解消(遊休荒廃農地解消対策委員会、地区審単位での解消)	補助事業等による遊休荒廃農地解消目標面積 21年度末10ha/年 ⇒22年度目標約5ha/年(行政と連携して解消)	農業委員会事務局長
		48	担い手への農地の利用集積による優良農地の確保	農地の保全・活用を図る。(数値目標 平成22年度 12ha)	担い手農家への農地の利用集積の促進	農用地流動化促進奨励金対象面積 21年度末 11.7ha →22年度目標 12ha	真田産業観光課長(農林振興係)

環境保全事業関係

環境基本計画基本目	環境目的	類番	事務事業名	環境目標	今年度の事業	効果を計る指標 (どの水準まで)	責任者
III 地域資源を活かし地球にやさしいまち	1 循環型社会の形成に努める	49	実施計画・総合計画の策定	環境配慮項目の導入、環境配慮事業の優先実施に向けて仕組みづくりを進める。	1 庁内協議 2 査定 3 市民説明 4 公表	◆環境配慮事業数:新規1件以上 ◆資料提出部数:5部 (その他必要分は両面コピー) ◆査定資料印刷枚数:対前年20%程度削減 ◆冊子印刷部数:200部→150部	政策企画課長
		50	ごみ減量・再資源化対策事業①	廃棄物を減量し、リサイクルを推進します	1 剪定枝木類の資源化 2 ごみ減量化機器等購入費補助金 3 焼却灰のリサイクル	・可燃ごみの減量目標 前年度比△500トン/年(△1.5%) ・資源化率20%以上	廃棄物対策課長
		51	ごみ減量・再資源化対策事業②	ごみ減量・リサイクル活動の普及啓発を推進します	1 市民への周知、啓発 2 講座等の開催 3 市民、事業者の環境保全活動の支援	・可燃ごみの減量目標 前年度比△500トン/年(△1.5%) ・資源化率20%以上	廃棄物対策課長
	2 地球温暖化防止活動を推進する	52	職員の管理に関すること	ノー残業デー、19(育児)の日、クールビズの普及促進によるエコオフィスの推進	・ノー残業デー(水曜日) ・19(育児)の日(毎月19日) ・クールビズ(6月～9月)	・実施状況の把握	人材開発課長
		53	新エネルギー活用施設(太陽光発電・太陽熱利用施設)設置補助	新エネルギー・省エネルギーに関する補助や情報提供を進めます。	新エネルギー活用施設に対する補助金交付	目標 250件 目標 10件	生活環境課長 武石市民生活課長
		54	エコオフィスうえだ(上田市役所地球温暖化防止実行計画)の推進	市役所庁舎内などの市の活動に伴う温室効果ガスの排出量抑制を推進します。	・「第二次上田市役所地球温暖化防止実行計画」の推進を図る。 ・長野県に「温室効果ガス排出抑制計画」を提出し、推進を図る。	・国に「改正省エネ法」報告書を提出し、併せてエコオフィスうえだの推進を図る。	生活環境課長
		55	環境家計簿の活用	家庭版ISOの普及を推進します	広報等へ募集掲載 環境家計簿の配布・回収・評価	うえだエコ隊参加(環境家計簿回収)家庭数5世帯	生活環境課長

環境保全事業関係

環境基本計画基本目	環境目的	類番	事務事業名	環境目標	今年度の事業	効果を計る指標 (どの水準まで)	責任者
III 地域資源を活かし地球にやさしいまち	2 地球温暖化防止活動を推進する	56	ISO14001普及啓発	ISO14001などの、事業者に対する環境マネジメントシステムに関する情報を提供し、支援します。	うえだ環境ISOネットワーク・長野県環境保全協会上小支部の活動などを通して、企業との情報交換・各種事業の実施	・各イベントの際に協力して実施すること	生活環境課長
		57	うえだ環境フェア(消費生活展)の開催	各種団体と協力して、廃棄物の減量と資源再利用の促進に努めます。	うえだ環境フェアの開催 10月17日(土)	①来場者数 1,000人 ②アンケートによる来場者満足度 90%以上	生活環境課長
		58	池波正太郎真田太平記館の管理運営	電気等の節減と入館者数の増加(環境啓発とエコオフィスの推進)	①環境啓発に関するポスター等の掲示 ②入館者増加により、一人当りの光熱水費の抑制 ③光熱水費の節減(節電の徹底、施設内の適正な温度管理) ④来館者向け環境啓発の具体的取組み検討	①②入館者数年間3万人以上。一人当りの電気量5kwh以下。	池波正太郎真田太平記館長
		59	小中学校改築事業	環境にやさしい学校づくり(太陽光発電システムなどの導入検討)	小中学校への太陽光発電システムなどの導入の検討	小中学校施設の移転改築時に太陽光発電施設などの導入の可能性を検討する。	教育総務課長
		60	環境への負荷の低減に係る啓発事業	エコオフィスうえだ推進活動のPRと啓発を兼ねた館内掲示	地球環境保護意識の高揚と同時に自然運動公園管理施設のランニングコスト削減のため「上田市役所地球温暖化防止実行計画」に基づく環境負荷の低減活動のPRと協力を兼ねた啓発(館内掲示)を行う。		自然運動公園管理事務所長
		61	グリーン購入の実施	上田市の環境目標「地域資源を活かし地球にやさしいまち」を実現するため、グリーン購入率を高めます	物品調達におけるグリーン購入の推進	物品調達におけるグリーン購入率を88%以上とする。	丸子地域振興課長
		62	消費電力量の削減	上田市の環境目標「地域資源を活かし地球にやさしいまち」を実現するため、温室効果ガス排出削減を進めます	庁舎の電力消費量削減	前年度実績の1%減	丸子地域振興課長
		63	丸子地域自治センター関連施設の可燃ごみ削減	上田市の環境目標「地域資源を活かし地球にやさしいまち」を実現するため、温室効果ガス排出削減を進めます	丸子地域自治センター関連27施設の可燃ごみ削減	前年度実績の1%減(34,560kg)	丸子地域振興課長

環境保全事業関係

環境基本計画基本目	環境目的	類番	事務事業名	環境目標	今年度の事業	効果を計る指標 (どの水準まで)	責任者
III 地域資源を活かし地球にやさしいまち	2 地球温暖化防止活動を推進する	64	集中管理車のガソリン及び軽油の使用量の削減	上田市の環境目標「地域資源を活かし地球にやさしいまち」を実現するため、ガソリン及び軽油の使用量の削減を目指す	集中管理車11台のガソリン及び軽油の使用量の削減	昨年度実績の1%減 ガソリン使用量3,110L 軽油5,100L	丸子地域振興課長
		65	エコオフィスうえだ	「エコオフィスうえだ」に基づき、コピー用紙使用の削減を図る。		平成22年度コピー枚数：27,000枚 (平成21年度比 5%削減目標)	丸子市民生活課長 市民サービス担当 (税務・収納部門) 武石市民生活課長 市民サービス担当 (税務・収納部門)
		66	エコオフィスうえだ	「エコオフィスうえだ」に基づき、資源化率の向上を図る。		平成22年度：95% (平成22年度目標数値)	丸子市民生活課長 市民サービス担当 (税務・収納部門) 武石市民生活課長 市民サービス担当 (税務・収納部門)
		67	エコオフィスうえだ	「エコオフィスうえだ」に基づき、エラー表示用紙の削減、電気使用量の削減を図る。		平成22年度：95% (平成22年度目標数値)	丸子市民生活課長 市民サービス担当 (税務・収納部門) 武石市民生活課長 市民サービス担当 (税務・収納部門)
		68	丸子地域消費生活展の開催	各種団体と協力して、廃棄物の減量と資源再利用の促進に努めます。	丸子地域消費生活展の開催(委託) 11月21日(日)	アンケートによる来場者満足度 90%以上 来場者予定数 600人	丸子市民生活課長 市民サービス担当 (生活部門)
		69	市営住宅の管理	地球温暖化防止を推進する。	・住宅車輛のガソリン1%削減		丸子市民生活課長 市民サービス担当 (住宅部門)
		70	環境保全事業	ISO14001などの事業者に対する環境マネジメントシステムに関して情報を提供し、事業者を支援する。	工業3団体へ説明会の開催 団体会員への「工振ニュース」で取得支援の情報を年2回提供する。	参加者1回で30社40人	丸子産業観光課長(商工観光係)
		71	ごみ減量、再資源化対策事業	廃棄物を減量及びリサイクルの推進	・生ごみ減量化機器等購入に対する補助金 ・資源物回収カレンダー全戸配布 ・河川への不法投棄防止啓発ビラの全戸配布		武石市民生活課長

環境保全事業関係

環境基本計画基本目	環境目的	類番	事務事業名	環境目標	今年度の事業	効果を計る指標 (どの水準まで)	責任者
III 地域資源を活かし地球にやさしいまち	3 地域資源を有効利用する	72	雨水貯留施設設置補助	雨水貯留施設に関する補助や情報提供を進めます。	雨水貯留施設に対する補助の実施	補助金交付件数 25件 補助金交付件数 2件	生活環境課長 武石市民生活課長
		73	「新技術等開発事業」助成金	環境にやさしい「新技術等の開発」を行った業者に対し応援します。	事業者への補助事業制度の周知	交付要綱に適合すし、採択された申請事業者に補助金を交付する。	商工課長
		74	樹木の剪定等	剪定された樹木等のリサイクル化を図る。	剪定樹木の有効利用 ①チップリサイクル化の推進 ②燃料としての使用	有効利用95% ①剪定木のチップリサイクル化率 ②剪定木の燃料としての使用率	公園緑地課長
		75	施設建設事業	建設工事にあたり、環境に配慮した計画・設計及び工事施工に努める。	1計画・設計における環境配慮 2工事施工における環境配慮	別紙様式G1のとおり	建築課長
		76	公共工事コスト縮減調査	上田市の環境目標「地域資源を活かし地球にやさしいまち」を実現するため、公共工事コスト縮減調査を実施するとともに、その結果を周知し、更なるコスト縮減を呼びかけます	平成21年分公共工事コスト縮減調査の実施	公共工事コスト縮減 7.00%	丸子地域振興課長

環境保全事業関係

環境基本計画基本目	環境目的	類番	事務事業名	環境目標	今年度の事業	効果を計る指標 (どの水準まで)	責任者
IV 歴史や調和を大切に するまち	1 歴史・文化を未来に 引き継ぐ	77	文化財の保存・整備	文化財の調査・指定・保存・活用・後継者育成	指定文化財及び歴史的建造物の国の文化財原簿への登録の推進	文化財及び歴史的建造物の国の文化財原簿への登録を2件以上指定	文化振興課長
		78	博物館の運営	歴史・文化的遺産とのふれあいの場の創出	① 博物館講座ほか左記のとおり ② 観覧券・しおり・ポスター・チラシ等の作成に際して古紙配合紙・大豆油インクを使用する。	① 来館者数 ② 冊子を除く印刷物に古紙配合紙・大豆油インクを使用する(100%)	博物館長
		79	記念館の運営	歴史・文化的遺産とのふれあいの場の創出	① 美術教室ほか左記のとおり ② しおり・チラシ等の作成に際して古紙配合紙・大豆油インクを使用する。	① 来館者数 ② 冊子を除く印刷物に古紙配合紙・大豆油インクを使用する(100%)	博物館長
		80	信濃国分寺資料館の運営	① 歴史・文化的遺産とのふれあいの場の創出 ② 環境にやさしい施設運営(リサイクルを推進し廃棄物の減量を図る)	① 史跡見学会ほか左記のとおり ② 公園の剪定された樹木のチップ化、落ち葉の腐葉土化など	① 来館者数 ② リサイクル率100%	博物館長
	2 緑あふれるまちをつくる	81	都市計画街路等建設工事	街路樹の植栽を推進します。	南天神町常田線L=0.3kmの植栽工事	施工延長	都市計画課長
		82	景観形成事業	生垣設置の補助を行い、緑化の推進を図ります。	・市広報、UCVサンデーうえだ等でのPR ・補助件数15件(予定)	・補助金を出した生垣の延長(本年度延長200m)	都市計画課長
		83	公園の建設	公園の整備を促進する。	神畑公園整備 0.54ha 音楽村周辺公園整備 0.58ha	一人当たり都市公園面積を20.00㎡/人目標する。	公園緑地課長

環境保全事業関係

環境基本計画基本目	環境目的	類番	事務事業名	環境目標	今年度の事業	効果を計る指標 (どの水準まで)	責任者
IV 歴史や調和を大切に するまち	2 緑あふれるまちをつくる	84	花と緑のまちづくり推進事業の実施(1)	緑化の推進	・植樹本数 50本 ・花苗配布 100,000本	・公共用地等への植樹本数(50本) ・地域自治会等に配布する花苗本数(100,000本)	公園緑地課長
		85	花と緑のまちづくり推進事業の実施(2)	緑化の推進	・花の種銀行 口座開設者数 710人 ・種から育てる花づくり講習会の開催4回	・花の種銀行会員数(延べ口座開設者 710人) ・花づくり講習会 開催回数 年間4回	公園緑地課長
		86	緑地の保全(染屋台グリーンベルト保全事業)	緑地の保全	里山体験ボランティア 年5回	市街地近郊の貴重な自然環境を形成している染屋台グリーンベルトを環境保全(地球温暖化防止、ヒートアイランド現象の緩和)の面から積極的に保全をする必要があることから、上記事業を実施し、市民の理解を深める。	公園緑地課長
		87	花いっぱい運動参加者の増加	住民参加による道路沿い等地域の緑化を図る。	1住民参加のための施策検討 2住民参加による緑化 3住民環境啓発	新規団体受付、植栽場所検討 住民による花苗植栽 3,500人 コンクールへの参加 球根植栽団体講習会への参加	丸子建設課長(管理係)
		88	住民参加型による花壇管理	丸子ベルパークの花壇をボランティア参加者により管理してもらい花などの情報を交換し合う場を提供する。	ボランティアによる花壇管理	ボランティア参加者 240人	丸子建設課長(管理係)

環境保全事業関係

環境基本計画基本目	環境目的	類番	事務事業名	環境目標	今年度の事業	効果を計る指標 (どの水準まで)	責任者
IV 歴史や調和を大切に するまち	3 調和のとれた美しい 景観を保つ	89	ポイ捨て等防止 条例に基づき美化活 動の推進	ポイ捨て条例に基づき美 化活動を推進します。	環境美化監視員による パトロール ポイ捨て防止チラシを 配布(成人式)	環境美化監視員によるパト ロール回数 月3回 ポイ捨て防止啓発チラシの配 布 最低1回	生活環境課長
		90	ゴミゼロ運動 の実施	地域美化活動を推進し ます	・広報への掲載 ・庁内掲示板への掲載 ・ゴミゼロ運動の実施 (県下一斉に年1回)…地 区別に4回に分けて実 施する	参加者人数 10,000人	生活環境課長
		91	河川清掃計 画・実施	地域美化活動を推進し ます。	河川清掃 年2回	・矢出沢川・蛭沢川等の主要 河川の清掃実施(春・秋2回) ・下排水路の清掃実施(春・秋 2回)	生活環境課長
		92	犬猫の糞尿 害対策	犬猫の糞尿害等に対す る対策を推進します。	犬猫の正しい飼育方法 の周知 自治会による周知・看 板設置の協力依頼 (随時)	苦情件数 39件以下	生活環境課長
		93	放置自転車 の撤去及び処 分	上田駅周辺の放置禁止 区域における自転車等 の駐車をなくします。	放置禁止区域における 警告書の貼付	放置自転車撤去件数 年450 台以下	管理課長
		94	歩道のバリア フリー化	歩道のバリアフリー化を 推進します。	・歩道新設 L=3,420m (うち前年度繰越分)L =1,725m ・繰越分の早期完成を 目指し、本年度分の早 期 発注に心がける。	・工事の完了実績による。	土木課長
		95	景観形成事 業	景観形成市民団体等の 認定	アダプトシステム協定を 取り交わす地域住民団 体等の検討	景観形成市民団体、アダプト システム協定団体数及び団体 の実績報告による活動数(各 1)	都市計画課長

環境保全事業関係

環境基本計画基本目	環境目的	類番	事務事業名	環境目標	今年度の事業	効果を計る指標 (どの水準まで)	責任者
IV 歴史や調和を大切に するまち	3 調和のとれた美しい 景観を保つ	96	景観形成事業	住民協定の締結を推進し、優れた街なみの形成を図ります。	住民協定締結の誘導に向け地区の検討	認定数(1)	都市計画課長
		97	景観形成事業	市民・事業者に対する景観づくりの意識啓発をします。	景観ウォッチングの実施 2回	景観ウォッチングの実施回数(2回)	都市計画課長
		98	景観形成事業	沿道景観の美化と風致を維持します。	違反している貼り紙や立看板を一掃する	立看板の撤去件数、貼り紙の除去件数(各20)	都市計画課長
		99	景観形成事業	良好な景観の形成及び保全を推進するため、上田市景観計画を策定します。	次の会議等を開催し、景観計画案を策定する。 ・素々案に対する意見聴取のための住民説明会の開催。 ・景観審議会、都市計画審議会を開催し、素案の審議。 ・上田市景観計画案の策定。	今年度の事業の具体的な施策や手段の進捗状況	都市計画課長
		100	ポイ捨て条例に基づく美化活動の推進	ポイ捨て条例に基づき美化活動を推進します。	環境美化監視員によるパトロール	パトロール回数 4班 月3回	丸子市民生活課長 市民サービス担当 (環境部門)

環境保全事業関係

環境基本計画基本目	環境目的	類番	事務事業名	環境目標	今年度の事業	効果を計る指標 (どの水準まで)	責任者
IV 歴史や調和を大切に するまち	3 調和のとれた美しい 景観を保つ	101	犬猫の糞尿 害対策	犬猫の糞尿害に対する 対策を推進します。	犬猫の正しい飼育方法 の周知 自治会による周知や看板設置の協力依頼 (随時)	苦情件数 15件以下	丸子市民生活 課長 市民サービス 担当 (生活部門)
		102	天然素材利用農道・水路 整備	農道、農業用用水路に おいて、環境に配慮した 天然素材を利用する工 法を推進します。	天然素材を利用した農 道・水路を整備する。	農道・水路整備における天然 素材を利用を5箇所以上採用 する。	真田産業観光 課長(土地改 良係)
		103	道路建設工 事(歩道設 置)	歩道設置を推進します	・歩道新設 L=200m (今年度の事業である が菅平での施工となる 為、歩道完成は来年度 となる。)	・工事の完了実績による。 (今年度については、工事発 注であり歩道完成は来年度と なる為、数値での評価が出来 ない)	真田建設課長
		104	犬猫の糞尿 害対策	犬猫の糞尿害等に対す る対策を推進します。	犬猫の正しい飼育方法 の周知 オフトーク放送による周 知(随時)		武石市民生活 課長
		105	ポイ捨て条例 に基づく美化 活動の推進	ポイ捨て条例に基づき美 化活動を推進します。	環境美化監視員による パトロール月2回 不法投棄防止チラシ等 の配布		武石市民生活 課長
		106	道路整備事 業	小沢根線の舗装改良整 備を推進する。	・舗装改良 L=800.0m の早期発注 H26年度中の全線完 成を目指す。	完了実績による。	武石建設課長
		107	公園維持管 理	良好な自然環境を保全 し、市民が身近に親しむ ことができる環境づくりに 努める。	・ともしび公園・武石公 園・河川公園 景観・除草作業、安全 管理等の維持管理。 ・公園の利用マナーの 厳守。	管理実績による。	武石建設課長

環境保全事業関係

環境基本計画基本目	環境目的	類番	事務事業名	環境目標	今年度の事業	効果を計る指標 (どの水準まで)	責任者
V 環境を思いやる人があふれるまち	1 環境にやさしい人をはぐくむ	108	環境にやさしい人を育む 環境にやさしい地域を育む	地域住民等への環境啓発の推進	1 環境啓発に係る住民への広報・情報提供 2 関係機関・団体等と連携した啓発活動の推進 3 自治会の環境改善要望に対する対応(調査・回答)		塩田地域自治センター長
		109		環境啓発の実施	①広報うえだを活用した環境啓発活動 ②市公式HPを活用した環境啓発活動	①啓発記事のページ数 ②環境関連記事へのアクセス数	秘書課長
		110	太陽光発電による環境への配慮	太陽光発電により有害物質を排出しないクリーンなエネルギーが供給できることを来館者に周知する	当センターにある太陽光発電の存在をパネルにより来館者にPRし、太陽光発電では有害物質を排出しないクリーンなエネルギーが供給できることを周知し、環境への配慮を啓発する	①来館者数 36,000人以上 ②社会科見学 10校以上	マルチメディア情報センター長
		111	印刷物等による環境配慮の市民啓発	市民向けパンフレット等に環境啓発文を印刷する	・生活ガイドブックの作成 ・各種申請用紙の作成	・パンフレット内に上田市環境方針を印刷 ・生活ガイドブック内にチームマイナス6パーセントのロゴ印刷 ・再生紙使用の文言印刷	市民課長
		112	女性団体の育成・支援や講座の主催	環境に対する意識の啓発を図る(地球温暖化を考慮し、無駄を最小限に抑える工夫)	①女性団体や利用者に対する環境啓発 ・環境に関心のある団体の育成・支援 ・節水節電の呼びかけ(館内掲示・パンフレットへの掲載) ②エコ料理講座の開催 ・地産地消や料理法の工夫による廃棄物の抑制	②参加者の満足度90%以上	人権男女共同参画課長
		113	環境関連情報に関すること(情報の発信)	環境関連情報を発信します。	・ホームページの作成・更新 ・広報等へ関連記事を掲載 ・各課の通知文書やチラシ等に、環境関連のマーク・文言を加えるよう、機会をとらえて依頼する。	各種機会を捉え、環境について記事をまとめ、大きく広報に載せる。	生活環境課長

環境保全事業関係

環境基本計画基本目	環境目的	類番	事務事業名	環境目標	今年度の事業	効果を計る指標 (どの水準まで)	責任者
V 環境を思いやる人があふれるまち	1 環境にやさしい人をはぐくむ	114	こどもエコクラブ事業	保育園・小学校・中学校及び地域での環境教育・環境学習活動に対し、支援・協力します	こどもエコクラブについての周知 登録クラブへの支援協力	登録クラブ数	生活環境課長
		115	こどもエコガイド事業	保育園・小学校・中学校および地域での環境教育・環境学習活動に対し、支援・協力します。	こどもエコガイド配布		生活環境課長
		116	ISO手法の推奨	保育園・小学校・中学校および地域での環境教育・環境学習活動に対し、支援・協力します。	保育園・学校等の環境改善活動への支援・協力	情報提供等の支援協力をする	生活環境課長
		117	市営住宅の管理	事務事業の効率化と環境啓発	①全入居者通知の機会(年2回)に口座振替利用の奨励と環境啓発文を掲載	口座振替率 90.00%以上	住 宅 課長
		118	環境への負荷の低減に係る啓発事業	エコオフィスうえだ推進活動のPRと啓発を兼ねた館内掲示	地球環境保護意識の高揚と同時に点字図書館のランニングコスト削減のため「上田市役所地球温暖化防止実行計画」に基づく環境負荷の低減活動のPRと協力を兼ねた啓発(館内掲示)を行う。		点字図書館長
		119		健康講座などや健診(検診)で環境について考える機会を設ける	乳幼児検診、健康教室においてマイボトルの持参によるごみの減量や環境保全の啓発を行う。		健康推進課長
		120	環境への負荷の低減に係る啓発事業	エコオフィスうえだ推進活動のPRと啓発を兼ねた館内掲示	地球環境保護意識の高揚と同時に相染閣のランニングコスト削減のため「上田市役所地球温暖化防止実行計画」に基づく環境負荷の低減活動のPRと協力を兼ねた啓発を行う。(館内掲示)		相染閣 館長

環境保全事業関係

環境基本計画基本目	環境目的	類番	事務事業名	環境目標	今年度の事業	効果を計る指標 (どの水準まで)	責任者
V 環境を思いやる人があふれるまち	1 環境にやさしい人をはぐくむ	121	環境にやさしい保育園づくり	保育園での環境教育・環境活動を推進し、環境に対する意識啓発を図る	生ごみ処理機を1台追加導入し、生ごみの堆肥化を推進する。 「ぽっくん」を使い、生ごみを土に還す事を環境教育として推進する。	搬出生ごみの減量 堆肥として菜園等での利用 園児・保護者が興味を示すこと	保育課長
		122	交通安全事業(コロベタ大作戦)	市民協働による歩行エリアのカラー舗装を推進し歩行者の安全対策及びコスト縮減を図る。	・カラー舗装 ・10路線 L=3,000m W=0.7~1.0m	・作業の完了実績による。	土木課長
		123	YAっHOーの発行	環境記事・情報を年1回以上掲載する。	記事・情報として、環境問題などについて掲載し、子どもや親への意識啓発の機会とする。	環境記事・情報を年1回以上掲載する。	生涯学習課長
		124	各種講座・里山づくり支援	市民の環境に関する意識の啓発を図る。	1 環境教室の実施 ・季節に合わせた料理教室(年10回) ・自然に親しむ講習会(年4回) 2 団体等への支援 ・里山づくり支援事業(年間通じて数回)	・すぐに目に見える効果は期待できないが、住民の環境に対する意識が高くなり、環境に対する意識が高まる。	西部公民館長
		125	公民館各種講座事務	架橋問題に関する講座を開設し、市民の環境に関する意識の啓発を図ります	自然観察講座 3回 野鳥観察講座 1回 水生生物観察講座 1回 工作教室 1回 人生いきいき講座4回 エコライフ講座 1回	青少年・成人教育で環境に関する講座を開催し、環境に対する意識を高める 目標講座数 延べ11講座 参加者数 200人	上野が丘公民館長
		126	地域デザイン講座①「再発見『塩田の歴史と自然』」	環境問題に関する講座を開催し、市民の環境に対しての意識の啓発を図ります。	①「再発見『塩田の歴史と自然』」と題し、気候的特徴から造られた「ため池」が、塩田の人々の歴史・文化(祭り、民話なども含む)・風土・民俗などにも大きな影響を与えて来たことを学部。 ②さらに環境の変化を知っていただき地球温暖化防止に対する行動の第一歩につなげたい。	①参加者延べ人数 1講座20人 @20人*4回 ②参加者の満足度 70% 参加者アンケートの結果から	塩田公民館長(解放会館)

環境保全事業関係

環境基本計画基本目	環境目的	類番	事務事業名	環境目標	今年度の事業	効果を計る指標 (どの水準まで)	責任者
V 環境を思いやる人があふれるまち	1 環境にやさしい人をはぐくむ	127	地域デザイン講座②「地域に緑の連続性を」	環境問題に関する講座を開催し、市民の環境に対しての意識の啓発を図ります。	①「塩田に適した植栽とプロが教える花の育て方～地域に緑の連続性を～」と題し、この土地の気候、風土に適した植栽や緑の連続性との関係を知っていただく。 ②自然環境の大切さを知り、地球温暖化防止への第一歩にしていたく。	①参加者延べ人数 1講座20人 @20人*6回 ②参加者の満足度 70% 参加者アンケートの結果から	塩田公民館長 (解放会館)
		128	「災害発生！夏休みサバイバル訓練！」	自然環境の大切さを、子どもたちの記憶に残す。	①「災害発生！夏休みサバイバル訓練！」と題し、公民館を避難所と想定し、避難所体験をする。 ②その中で、川等の水から飲み水を確保する訓練を通じ水の大切さを知る。 ③真っ暗な中で手作りランプで過ごし明かりの有難さを感じてもらい地球温暖化防止への一歩とする。	①参加者延べ人数 1講座30人 ②参加者の満足度 70% 参加者アンケートの結果から	塩田公民館長 (解放会館)
		129	しおだっ子自然観察ツアー「冬の菅平高原でスノーシューハイキング」	自然の厳しさ、豊かさを知り自然環境の大切さを子どもたちの記憶に残す。	①信州上田千曲川少年団、NPO法人信州いわたの学校等の市民団体と一緒に、 ②千曲川の支流・川の上流、真田菅平高原で、遊びながら川や自然に親しむ ③自然の厳しさ、豊かさを知り、自然環境の大切さをを感じてもらい記憶に残る機会とする。	①参加者延べ人数 1講座30人 ②参加者の満足度 70% 参加者アンケートの結果から	塩田公民館長 (解放会館)
		130	環境負荷低減の啓発事業	啓発活動を通じて環境保全の理解を深める。	6月の環境月間にあわせ小中学校向けに本の紹介、テーマ本展示コーナーに環境関係の本を展示し、市民に啓発する。11月の図書館まつりでは本のリサイクル市などを行い、本の有効利用を図る。		上田図書館長
		131	環境負荷低減の啓発事業	本の紹介及び展示	環境月間中、テーマ本コーナーに環境関係の図書類の展示を行う。	展示関連本の貸出数・レファレンス数	上田情報ライブラリー館長

環境保全事業関係

環境基本計画基本目	環境目的	類番	事務事業名	環境目標	今年度の事業	効果を計る指標 (どの水準まで)	責任者
V 環境を思いやる人があふれるまち	1 環境にやさしい人をはぐくむ	132	文化芸術振興事業	市民の環境に対する意識の啓発	文化芸術振興事業に関するチラシ・パンフレット等印刷物に環境に対する啓発の文言を加える。	チラシ・パンフレット等印刷物に啓発文言の記載 100%	文化振興課長
		133	環境への負荷の低減に係る啓発事業	利用者への環境啓発(掲示)・事務の効率化の推進	「上田市役所地球温暖化防止実行計画」に基づく環境負荷の低減活動のPRと協力を兼ねた啓発(館内掲示)を行う。 事務の効率化(納付書の活用)を図る。		市民会館長
		134	自然を守り、環境美化活動	利用者への環境啓発	1、周辺の森林下草刈で、樹木の活性化。 2、環境美化啓発。 3、利用しやすい施設及び環境づくり。	①利用者数。 ②水道使用量。 ③灯油量削減。	自然運動公園管理事務所長
		135		職員はもとより、市民の代表である議会議員の環境に関する意識の啓発を図る。	①議員への意識啓発	①分別が徹底しているか定期的に会派室のゴミ箱及び議員専用の紙類等の分別ボックスをチェックする。 ②半期ごとに達成度を測る。	議会事務局長
		136	女性団体の育成・支援や講座の主催	環境に対する意識の啓発を図る(地球温暖化を考慮し、無駄を最小限に抑える工夫)	女性団体に対する環境啓発 ・環境学習の計画・支援 ・省エネ等エコ生活への呼びかけ イベントにおける市民への環境啓発	女性団体に対する環境啓発 ・環境学習は理事のみならず各団体会員に呼びかける ・省エネ等エコ生活への呼びかけと実践 イベントにおける市民への環境啓発チラシの配布	丸子市民生活課長 市民サービス担当 (市民部門)
		137	隣保館事業の開催	環境に対する意識の啓発を図る(地球温暖化を考慮し、無駄を最小限に抑える工夫)	隣保館事業参加者に対する環境啓発 ・エコイベントの計画・支援 ・省エネ等エコ生活への呼びかけ イベントを通じ市民への環境啓発		丸子市民生活課長 市民サービス担当 (丸子解放センター)
		138	環境負荷低減の啓発事業	啓発活動を通じて環境保全の理解を深める。	・6月の環境月間に、展示コーナーに環境関係の本とパネル(環境保全協会から借用)を展示し、市民に啓発する。 ・2月頃本のリサイクル市を行い、除籍になった本の有効利用を図る。		丸子金子図書館長

環境保全事業関係

環境基本計画基本目	環境目的	類番	事務事業名	環境目標	今年度の事業	効果を計る指標 (どの水準まで)	責任者
V 環境を思いやる人があふれるまち	1 環境にやさしい人をはぐくむ	139	自治センターだより	住民の環境に関する意識の啓発を図る。	真田自治センターだよりを活用した環境啓発活動	啓発記事件数	真田地域振興課長
		140	各種講座	地域住民の環境に関する意識の啓発を図る	・ふるさとの自然に親しみ、自然の豊かさや大切さを学ぶ教室 ・粘土に地域の土を混ぜて使い、焼き物をつくる教室	教室を実施することで、住民の環境に対する意識が高くなる。	真田地域教育事務所長
		141	視察研修の開催(男女共同参画)	ごみの減量化及びリサイクルの推進	不燃物等の処理状況視察(小柳産業・ウェルサイクル)	資源循環型社会構築への参加者意識の向上を図る	武石市民生活課長
		142	市営・特目住宅の管理	事務事業の効率化と環境啓発	全入居者通知の機会(年2回)に口座振替利用の奨励と環境啓発文を掲載	口座振替率 90.0%以上	武石市民生活課長
		143	自然観察に関する事業	自然に親しむ事業を開催する。			武石地域教育事務所長
		144		就労センター職員及び通所者の環境に対する意識を高める。	1. 通所者の皆さんに節電・節水の実施 2. アイドリングをさげ燃料の節約 3. 生ゴミの最利用 4. 施設内環境整備(花壇の植栽実施)	月平均の電気使用量2400キロ 軽油の月平均使用量246ℓ ガソリン月平均210ℓ 灯油月平均270ℓ	社会就労センター武石事業所長

環境保全事業関係

環境基本計画基本目	環境目的	類番	事務事業名	環境目標	今年度の事業	効果を計る指標 (どの水準まで)	責任者
V 環境を思いやる人があふれるまち	2 環境にやさしい地域をはぐくむ	145	塩田地区有線放送業務	身近な環境問題等の番組作成により、地域への関心を高める。	① 昨年度に引き続き中部電力の協力により、『電気の豆知識』の放送を行う。 ② 『環境の時間』と題して月1回の予定で、地域の身近な環境の話題から、番組を作成し放送する。 ③ 『有線放送だより』(隔月発行)に、環境に関する「1口メモ」を記載する。		塩田地区有線放送所長
		146	うえだ環境市民会議に関する事務	うえだ環境市民会議を開催し、市民、事業者、行政とのパートナーシップにより環境改善活動を推進します	うえだ環境市民会議の開催	環境改善活動への支援・協力活動が円滑にできること	生活環境課長
		147	国際規格審査登録事業助成金	ISO14000などの事業者に対する環境マネジメントシステムに対して情報を提供し、事業者を応援します。	事業者への補助事業制度の周知	交付要綱に適合する申請事業者に対してはすべて補助金を交付する。	商工課長
		148	丸子地域自治センターだよりの発行	上田市の環境目標「環境を思いやる人があふれるまち」を実現するため、自治センターだよりへ環境保全に関する情報を掲載し啓発を行う。	・丸子地域自治センターだよりの発行 ※環境保全に関する情報を掲載する。	・各号に環境情報を掲載 (計6回)	丸子地域振興課長
	3 環境活動を発信する	149	地域映像のデジタル化	地域映像のデジタル化による自然環境保護、歴史・文化資源の保全・活用を啓発する	① 地域映像をデジタル化しコンテンツ作りをする ② インターネット、地域イントラネット、出前上映会にて地域映像を情報発信する	① 地域映像コンテンツ作り 1作品以上 ② HPアクセス数 150,000回以上 ③ VODアクセス数 300回以上 ④ 出前上映会 24回以上	マルチメディア情報センター長

環境保全事業関係【その他～各課独自設定目標】

環境目的	類番	事務事業名	環境目標	今年度の事業	効果を計る指標 (どの水準まで)	責任者
環境に配慮した業務改善	1	交流・文化施設整備事業	環境負荷の少ない施設となる構造、設備、運営管理方法の検討	・整備用地の取得 ・基本設計 ・運営管理計画の策定に向けた検討	・基本設計、運営管理計画中間報告での、環境配慮策の充実度	交流・文化施設建設準備室長
	2	産院移転に関する意見集約と駐車場の着工、本体設計	環境負荷の少ない施設となる構造、設備の導入の検討	・市民ワークショップ、地域医療関係者協議 ・産院基本設計・実施設計 ・立体駐車場実施設計 ・立体駐車場建設工事 ・関係機関調整 等	・実施設計終了時での環境配慮策の充実度	産院建設準備室長
	3	農村環境改善センターの維持管理	エコオフィスうえだに基づき、地球環境の保全に取り組む	①事務室内温度、冬20℃・夏28℃に設定 ②センター利用者へのエコオフィスのPR ③水曜日の資源回収時の指導 ④コピー用紙の両面使用の推進	電気使用量50,000KWh、水道使用量400㎡、A重油使用量7,000ℓ、灯油使用量2,000ℓ、LPG使用量50㎡、コピー使用量30,000枚、可燃ごみ排出量300kg	豊殿地域自治センター長
	4		本庁及び教育委員会のコピー用紙の削減		平成22年度 9,000,000枚	行政管理課長
	5	電子申請の利用拡大	市民からの申請業務及び内部業務での利用拡大	各課業務調査の実施及び啓発	電子申請業務数 各申請の受付数	情報推進課長
	6	予算編成	環境に配慮しつつ、効率的な行政経営を目指した予算編成	①選択と集中による効率的・効果的な行政経営を目指した予算編成 ②環境基本計画(望ましい環境像)の実現に向けた施策への予算配分 ③予算編成事務の効率化	①効率的・効果的な行政経営 ②環境基本計画(望ましい環境像)の実現に向けた施策実施 ③持続的で安定的な財政基盤の確立 ④予算編成事務量の削減	財政課長

環境保全事業関係【その他～各課独自設定目標】

環境目的	類番	事務事業名	環境目標	今年度の事業	効果を計る指標 (どの水準まで)	責任者
	7	庁舎管理	地球を守る	・電気料の削減 ・燃料使用量の削減	前年度の使用量より削減	公有財産管理課長
環境に配慮した業務改善	8	税務業務の効率的運営	eLTAXサービスの拡充による業務の改善及び市民サービスの向上とエコオフィスの推進	eLTAXサービスの運用開始に向けた事業主、税理士への通知の送付や広報うえだ、市のホームページ・行政チャンネル等を活用した市民への周知とサービスの開始	申告におけるeLTAXサービスの利用件数割合(申告の5%～10%)	税務課長
	9	印刷物の見直し	印刷物の発注に当たっては、常に仕様内容を検討する。	・各種印刷物の作成	・紙の材質(過剰な材質にしない) ・発注数量(概ね1年間の必要量を発注する) ・余白の面積(余白をできるだけ少なくし、紙面の有効活用を図る)	市民課長
	10	介護保険、老人福祉事業全般にわたる事務改善の実施等	事務改善を図ることによって、高齢者の介護支援をスムーズにすすめる、元気なお年寄りをつくる。介護施設の建設に際し、環境に配慮した取り組みを事業者を求める。	・(通年)事務改善を進める。 ・(下半期)介護保険施設の建設事業者に対し、環境配慮を求める。		高齢者介護課長
	11	国民健康保険、高齢者医療保険、国民年金の各事業全般にわたる事務事業	節電、コピー用紙、紙ごみの削減		22年度のコピー枚数目標115,000枚(21年度実績値)	国保年金課長
	12	ホームページ、QRコードを使用した観光案内	ホームページ、QRコードを積極的に使用した観光案内を行う。	パンフレット・ポスター全てにQRコードを入れる。	総合パンフレットには総合版、ダイジェスト版の2種類があり、その全てにQRコードを入れる。	観光課長
	13	財務会計事務の改善	財務会計事務の向上による紙使用量の削減を図る。	①各種研修会の開催 ②適正帳票率の向上 ③支払伝票の削減	①適正帳票率・・・97.0% ②支払伝票件数・・・100,000件	会計課長

環境保全事業関係【その他～各課独自設定目標】

環境目的	類番	事務事業名	環境目標	今年度の事業	効果を計る指標 (どの水準まで)	責任者
	14	庁用汎用封筒に係る封筒印刷業務	57 環境関連情報を発信し、グリーン購入の推進と啓発を図る。	会計課印刷による市役所使用封筒に、「再生紙使用」と、「チームマイナス6%」のロゴを入れ、市職員の意識の啓発を図ると同時に、上田市の取り組みを広く市民にアピールする。	各種封筒等の必要印刷枚数を一定の指標とする。	会計課長
環境に配慮した業務改善	15	給食の調理及び配送	環境にやさしい給食づくりと配送業務(食品残渣の減少とBDF利用の配送車の運行)	①おいしい給食づくり ②配送車にBDFを利用 ③地産地消(地元産農産物の使用) ④残渣量の削減	①指導委員会における意見集約 ②BDFの利用量 ③地元産農産物の使用量 ④残渣量の調査・減量指導、畜産飼料への活用	第一学校給食センター長
	16	給食業務の環境への取り組み	環境にやさしく、安全・安心でおいしい給食づくり	①食品残渣減少の取り組み(残菜調査、学校訪問、児童・保護者へのPR) ②食品残渣の飼料としての利用 ③地元産農産物の使用 ④BDF燃料の使用	①②食品残渣の発生量 ③地元産農産物の使用量 ④BDF燃料の使用量	第二学校給食センター長
	17	各種大会等パンフレットの作成	大会参加者等と協力して、ゴミの減量に努めます。	各種大会等	大会終了時のゴミ残量	体育課長
	18	各種監査の実施	監査の際に事務事業の改善を指導	・例月出納検査(毎月) ・定期監査(5月～10月) ・決算審査、財政健全化判断比率等の審査(4月～8月) ・行政監査(9月～1月) ・財政援助団体等監査(9月～1月) ・出先機関監査(9月～2月) など		監査委員事務局長
	19	わがまち魅力アップ応援事業	上田市の環境目標「自然・生き物・人が共生するまち」を実現するため、自治会や市民団体が行う環境保全活動等を支援・協力します。	わがまち魅力アップ応援事業の実施	実施団体目標 10団体	丸子地域振興課長
	20	市営住宅の管理		・市営住宅の新規申込者に口座振替を依頼する。利用の奨励	・口座振替率 99.00%以上	丸子市民生活課長 市民サービス担当 (住宅部門)

環境保全事業関係【その他～各課独自設定目標】

環境目的	類番	事務事業名	環境目標	今年度の事業	効果を計る指標 (どの水準まで)	責任者
	21	移動図書館車の運行	あおぞら号の利用冊数の向上を図る。	移動図書館車の運行 (丸子・武石地域、年間約145日運行)	貸出冊数 21,000 冊	丸子金子図書館長
環境に配慮した業務改善	22	特定健診・特定保健指導受診率の向上	特定健診・特定保健指導の受診率を増加させ、住民の健康維持を図ることで、産業廃棄物等(医療廃棄物)の削減につなげる。	1 特定健診受診率と保健指導実施率の向上	1 特定健診受診率 49% 2 特定保健指導実施率 43%	真田健康福祉課長
	23	ごみ減量化事業	イベント参加者等と協力してごみの減量を図り、また公園等利用者への環境啓発活動を行います。	イベント時及び公園等へ環境啓発看板等の設置	イベント終了時のごみの残量	真田産業観光課長(観光商工係)
	24	再生紙を使用した地域自治センターだよりの発行	再生紙の活用	①地域自治センターだよりに再生紙を使用する。	①使用の有無	武石地域振興課長
	25		ごみ、コピー用紙、光熱水量の削減		22年度 コピー枚数 40000枚 電気使用量 28950kwh 水道使用量 500㎡ 灯油使用量 1330ℓ	武石健康福祉課長
	26		ゴミ、コピー用紙、光熱水量の削減		22年度 コピー枚数 11000枚 電気使用量 30000kwh 水道使用量 500㎡ 灯油使用量 3300ℓ	武石診療所長